

# かすかべ KASUKABE 議会だより

2007 (平成19) 年2月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・議会だより編集委員会  
<http://www.city.kasukabe.lg.jp/>

## 第6号



消防団出初式



### 謹んで新春のお喜びを申し上げます

春日部市議会議員一同



#### 主な内容

主な議案の紹介……………	2～3ページ
一般質問……………	4～13ページ
審議結果……………	14ページ
閉会中の委員会活動……………	15ページ
市立病院健全経営検討 特別委員会を設置……………	16ページ

平成19年1月1日現在  
人口 242,181  
男 120,961  
女 121,220  
世帯数 94,815

# 男女共同参画推進条例の制定、廃棄物の処理

## 及び再利用に関する条例の一部改正を可決

### 議員提出議案は、4議案が提出され4議案を可決

#### 男女共同参画推進 条例の制定を可決

この条例は、男女が社会の対等な構成員として自らの意思と責任により、あらゆる分野へ共同参画する社会を築くため制定するものです。

個人の尊重と法の下の平等は日本国憲法にうたわれており、これまでも男女平等の実現に向け、様々な取り組みが行われてきました。

しかしながら、性別による固定的な役割分担意識と、それに基づく社会の制度や慣行、配偶者への暴力など、真の男女平等を達成するには、いまだに多くの課題があります。

春日部市が将来にわたって豊かで活力あるまちとして発展し続けるためにも、男女が

個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画できる男女共同参画社会の実現が重要です。

条例の制定は、市の基本理念を定め、市、市民、事業者の責務を明らかにし、男女共同参画を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

条例の主な内容は、社会のあらゆる分野で男女共同参画を推進するために必要な基本理念を定め、基本理念にのっとり、市、市民、事業者の責務を明記し、性別による権利侵害の禁止及び対応、配偶者等からの暴力の防止、広報物への留意、教育及び学習、基本計画の策定、推進体制の整備、苦情等への対応など、市の取り組みを定めるものです。

【全員一致で原案可決】

#### 討 論

条例の理念が市内にあまねく浸透することを期待し賛成（フォーラム春日部）

待望の「男女共同参画推進条例」が今議会で提案されたことは、まことに歓迎すべきものと考えます。

しかし、①最も重要な市の責務である財政的措置、②本条例の理念・目的を達成するための「基本計画」策定の手順、③さらに「苦情処理」に対応する第三者機関の設置。

以上の3点が、条文に盛り込まれなかったことは残念です。本条例の理念を生かすために、以上3点の確実な実行を求め、本議案に賛成するものです。

廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正を可決

この条例は、春日部地域と庄和地域のごみ処理手数料の統一並びに事業者に対して適切な負担を求めるため、春日部市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正するものです。

庄和地域のし尿及び粗大ごみ手数料を春日部地域の手数料に統一し、従量制によるし尿及び庄和地域の特定家庭用機器廃棄物手数料は、収集運搬許可業者により行うため削減するものです。

事業系一般廃棄物処理手数料は、市内全域の可燃物、不燃物の手数料を10kg当たり、210円にするものです。

し尿及び事業系一般廃棄物処理手数料は、平成19年4月1日から施行し、粗大ごみ及び特定家庭用機器廃棄物手数料は、10月1日から施行となり、経過措置として事業系一般廃棄物処理手数料は、平成20年3月31日までは10kg当たり、180円とするものです。

【賛成多数で原案可決】

住民に大きな負担になるものであり反対（日本共産党）

粗大ごみ処理手数料は、春日部地域の定額制に統一されることにより庄和地域住民にとっては、負担額が数倍から十数倍になるという内容です。これは合併前にサービスは高い方に、負担は低い方に合わせるという説明とは、全く相入れないものです。

事業系一般廃棄物処理手数料においても、両地域において可燃物、不燃物で負担増になる改正内容であり反対です。

廃棄物行政の円滑な推進を図り、努力を要望し賛成（新政の会）

改正に伴い負担増となるものもありますが、総体的には平準化されたもので、近隣自治体との均衡をも考慮した改正内容であると考えます。ごみ処理に関する事務事業の早期統一は、合併時からの重要課題であり、課題の解決に向けて前進であると評価します。

廃棄物行政の円滑な推進が図られるよう、市民等への改正内容の周知について、特段の努力を要望して賛成します。

#### 討 論

## 議員提出議案

### 「マザーズサロン」 (仮称) 設置の早期 実現を求める意見書

少子化の要因の一つとして、子育てに対する「経済的負担」が挙げられております。働く女性の約7割が第1子出産を機に離職しているとのデータがあります。出産・育児を経て再雇用を望む女性が少なくありません。12歳未満の子どもを持ちながら求職活動を行っている女性は全国に約70万人、就業を希望しているが求職活動を行っていない者も約180万人存在している状況です。

そのような中、2006年4月に少子化対策の一環として、就職を希望する子育て中の女性を支援するために「マザーズハローワーク」が開設されました。求職者一人一人の希望や状況を踏まえたきめ細かな対応が好評で、利用者も多くの方に利用され成果を挙げています。

しかしながら、「マザーズハローワーク」の設置は、全国12カ所11都道府県(札幌、

仙台、千葉、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡、北九州)にとどまっております。現在、サービスは大都市圏に集中しています。そこで厚生労働省は、既存のハローワーク内に「マザーズサロン」(仮称)を設置し、

同様のサービスを全国展開したいとしています。

再就職を希望する子育て中の女性は潜在的に多数いることに加え、少子高齢化による本格的な人口減少が見込まれる中で、社会の支え手を増加させる観点からも、子育て女性に対する再就職の促進を図ることは喫緊の課題であります。

よって、国及び政府においては、「マザーズハローワーク」未設置の36県に対し「マザーズサロン」(仮称)設置を早期に実現されるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年12月15日

春日部市議会

衆議院議長 河野 洋平 様  
参議院議長 扇 千景 様  
内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
厚生労働大臣 柳澤 伯夫 様

【全員一致で原案可決】

## 請願

### 「森の中の滞在型 図書館」の早期 実現を求める請願

旧庄和町が策定した「図書館基本計画」の構想を尊重し、庄和総合支所の中に、ゆつたりとしたスペースと十分な蔵書数、多面的な図書館機能を備えた「森の中の滞在型図書館」を早期に建設すること。

○請願者  
春日部に「森の中の図書館」建設をすすめる会

代表者 高澤 信雄  
【全員一致で採択】

## 討論

市民の願いにこたえて早く図書館建設をすべきであり賛成(日本共産党)

庄和総合支所を活用した森の中の図書館を一日も早くつくってほしいという請願に込められた熱い思いは、3万筆を超える署名数にしっかりとあらわれていると思います。

庄和総合支所を活用した図書館は、新市建設計画の中に

も位置づけられており、合併時の約束です。ゆつたりと読書を楽しめる滞在型図書館は、新春春日部の合併後の春日部地域と庄和地域の一体化を進める施設として、本市の未来に誇れる文化の拠点になるものです。旧庄和町が策定した「図書館建設基本計画」の構想を尊重して、決して規模を縮小することなく市民の願いにこたえて一日も早く図書館建設をすべきと考え賛成です。

最大限の財源確保に努力をして早期実現を期待し賛成(新政の会)

庄和総合支所庁舎の中に総合公園などの周辺環境と一体となった「森の中の滞在型図書館」をつくるという趣旨のこの請願には、庄和地域の方々を初めとして3万人を超える多くの市民の皆様の熱い思いが込められていると強く感じている次第です。この思いを実現するためにも賛成を

するところです。しかしながら、市の財政は年々厳しさを増している状況にあります。執行部においては、最大限の財源確保に努力をしていた

だき、図書館の早期実現を期待しまして、賛成いたします。

将来も誇れる図書館建設を求め賛成(フォーラム春日部)

本請願には、多くの春日部地域の市民も含めて、単に本を借りるだけでなく、ゆつくり文化的資料に親しむことのできる滞在型の文化施設としての図書館を、ぜひ、春日部に整備してほしいという願いが込められています。旧庄和町でまとめられた「図書館建設基本計画」構想こそ、多くの市民のこのような思いを実現する図書館であると確信いたします。

今、財政的に厳しいという理由から、この構想が縮小され、中途半端な施設になることが懸念されます。長期的な展望に立ち、市民の創意を集めて、将来、誇れる図書館となる基盤整備を進めるよう強く要望し、賛成いたします。



# 一般質問

## 市民の声を市政に

### 一般質問に29人が登壇

(文責は、各質問者)

市議会は、年4回（3月、6月、9月、12月）定例会を開会しています。本会議は、通常午前10時から開催されます。

市議会では、市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されています。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみたいはいかがでしょうか。

皆さんの選んだ議員が、市民の代表として活躍している姿をご覧ください。

#### 放課後子ども教室について



五十嵐みどり  
議員

学校帰りをねらった不審者から子どもを守るため、地域の人による放課後のパトロールが市内で広がっています。子どもの安全や放課後に友達と遊びながら、よい人間関係をつくる意味からも、放課後対策は大切であると思います。文部科学省の放課後子ども教室と厚生労働省の放課後児童クラブを連携した放課後子どもプランが、平成19年度から推進されるとの報道がありました。これは教育委員会が指導し、福祉部局と連携を図り、すべての小学校区で実施をするものです。

放課後子ども教室は、教員OBや大学生、地域のボランティアを活用でき、さらに学童保育よりも対象年齢が広いなど、とてもよい事業です。先進事例の江戸川区などでは、最初は全校一斉ではなく、対応可能な学校から実施をして、現在はすべての小学校で開催されています。本市においても同様に放課後子ども教室を、実施してはいかがでしょう。

#### 社会教育部長

実施する上で解決しなければならぬ課題が幾つかありますので、先進事例等について情報の収集、把握に努め、今後設置を予定している機関での調査研究に生かしてまいりたいと考えています。

#### このほか

- 「いじめ問題」について
- 子育て支援事業について
- 広報紙の表紙を市民からの公募に

#### 教育について



山崎 進  
議員

ゆとり教育ということ、平成14年度から学校週5日制が実施されました。詰め込み教育に対する改善策として提唱されたわけですが、休みがふえて授業時間数が不足したことによる詰め込みの影響で、いじめなどの問題行動の誘発や学力低下が指摘されており、

私は問題があるものと思っております。

学校週5日制の実施前と現在では、学校教育はどのように変化しているのか伺います。

また、言葉によるいじめは、言った方は冗談でも、言われた方はいじめにとつてしまうこともありま。冗談も言えないようでは、友達関係も希薄になってしまいう気がいたしますが、どのような指導をしているのか伺います。

#### 学務指導担当部長

本市の小中学校のいじめ・暴力問題件数が、今年度は10月末で35件に上りましたが、平成15年度からは減少傾向でした。このことは、学校週5日制導入の成果を示す一つだと思えます。今後も課題に謙虚に耳を傾け、研究改善を図り、導入の趣旨に沿った教育活動を推進してまいります。

子ども同士の人間関係や大人と子どもの人間関係を、どのように構築していくかは非常に難しい問題ですが、学校教育の中で、さらに充実させていきたいと考えております。

#### このほか

- 助役について
- 財政について
- 放置自動車について

### 生活保護改善のために



秋山 文和  
議員

昨今、全国各地で生活保護の申請に行っても受け付けをしてもらえず、餓死をする事件が発生しています。生活保護は、生存権を定めた憲法第25条に基づき、市民が生活に困った時の最後のよりどころであり、セーフティーネットとして窓口を訪れるわけですから、生活保護申請は、市民の申請権を保障して、申請をしやすくするために申請書を窓口

者の義務等の説明、また、保護の補正性に立った必要事項と助言は、申請後の調査の円滑性、制度の認識違いによるトラブル防止のために必要不可欠なものと考えています。今後も生活保護制度の適正かつ円滑な実施のために、福祉の心を持ち、相手の立場に立った面接相談をきめ細かく行つた上で、申請意思を確認して、申請書の交付を実施してまいりたいと考えています。

このほか  
○財政見直しについて  
○粕壁三丁目A街区公共事業手法の見直しを

### 春日部市の都市農業について



武 幹也  
議員

現在、国では担い手対策などのため農業政策改革が進められています。春日部市でも都市型農業の一例として生産直売による地産地消を推進しておりますが、さらなる取り組みが必要です。そこで、学校と農家が連携し、給食に多くの地元農産物を供給できる

ようにしたらどうでしょうか。また、農地の活用として体験ファーム制度を提案いたします。これは、通常の市民農園と違い営農行為なので、生産緑地の相続税猶予が使用できるとともに、入園料、収穫代金などの利益も得られます。また、退職する団塊世代の受け皿としても需要が高いと思いますがいかがでしょうか。

### 環境経済部長

現在の学校給食における地元農産物の使用は、お米が約67%、トマトが約42%などです。学校給食に地元農産物を供給することは農業活性化はもとより、食育や地産地消につながると考えています。今後、農業推進の立場から多くの農産物を学校給食に供給できるように研究してまいります。

また、体験ファームについては、高齢化などによる農業の担い手不足や遊休農地解消対策として、現在の市民農園を発展させる方式として実施できるか研究してまいります。

### このほか

- 手話通訳派遣事業とその充実について
- 子育て支援「育児の日」の制定について
- 下水道の普及について

### 栄町の浸水対策と三千貝堀幹線工事の進捗状況について



石川 勝也  
議員

栄町三丁目は地盤が軟弱な地域が多く、浸水対策や生活排水路の改修が長く望まれております。このような地元の声を尊重いただき、現在、三千貝堀幹線工事として排水路の改修工事が行われています。その全体計画と進捗状況をお伺いします。

また、栄町の排水路において、フェンスがしてあるもの子どもが落ちる可能性がないとも言えません。子どもや地域の安全対策向上のために、ふたをかける工事について積極的に検討をお願いします。

### 建設部長

三千貝堀幹線工事の全体計画は、市立第七保育所の西側丁字路から隼人堀川までの水路のうち、約810メートルについて、幅員の拡大及び暗渠化の改修を実施していくものです。工期は平成20年度までの5カ年を予定しており、工事進捗率は11月末時点で約



三千貝堀幹線工事

15%であり、予定どおり進んでいます。この改修により、これまでの被害も大幅に軽減されるものと考えています。排水路のふたかけについては、栄町地内の約66%が実施済みです。ただし、軟弱地盤により傾いた水路であることから、まずは、この改修に努め、あわせて水路を歩道として利用する必要性を考慮しながら判断してまいります。

### このほか

- 健全なる子どもたちの成長と学校教育の中から
- 納得いく介護保険と行政の役割について

## (仮称)ララガーデン 春日部について



岩谷 一弘  
議員

いよいよ建設が始まった市民注目の春日部駅西口大型商業施設、(仮称)ララガーデン春日部について、以下に関して質問します。

- ①概要と工事開始後現在の苦情と対応について
- ②交通渋滞緩和策と信号機設置について
- ③地域振興ふれあい拠点施設予定地の利用と今後の計画について

### ○環境経済部長

概要は、建築主(事業者)は三井不動産。施工は銭高組。敷地面積23000平方メートル。80の物販、飲食店。映画館9スクリーン。約1000台の駐車場です。

施工時間や振動についての苦情がありました。法定基準内であることを確認しました。今後市に苦情が寄せられた場合は、事業者に誠実な対応を求めてまいります。

### ○市民部長

信号機の設置要望を含め、渋滞緩和策を警察、事業者と引き続き協議してまいります。

### ○総合政策部長

地域振興ふれあい拠点施設予定地の一部、約1270平方メートルを工事施工者に有料にて貸し出しました。今後の残りの部分についても貸し出しできるように、取得予定者である埼玉県と協議してまいります。

### このほか

○地域振興ふれあい拠点施設について

○粕壁三丁目A街区市街地再開発事業について



(仮称)ララガーデン春日部 工事現場

## 大型商業施設開店と まちづくり



村松 君子  
議員

来年秋、春日部駅西口南の広大な土地には、大型商業施設(仮称)ララガーデン春日部がオープンします。その概要は、店舗面積は、23000平方メートル。キーテナントは、ショッピングストアと映画街(9スクリーン、1800席)。テナント数は、800席。駐車場台数は、1000台。1日平均来店者数見込みは、12000人と大規模なものです。規模から見ても、ロビンソンに匹敵します。地域の商店街や他の大型商業施設にも大きな影響を与えるものだと考えます。「まちづくり」の観点で見ていく必要があると思えますが、いかがでしょうか。

今、「ワーキングプア」と言われるように、働いても結婚できない、子どもを産めないという貧しい状況があります。若者の2人に1人は非正規雇用と言われています。大

型商業施設の開店に際しては、新規従業員採用が見込まれます。市として、正規雇用を基本とした地元優先の採用を申し入れていただきたいと思えますが、いかがでしょうか。

### ○環境経済部長

新たな拠点として中心市街地の回遊性を高め、周辺商店街への相乗効果が期待できると考えています。また、他の大型店とは異なった消費者層を対象としていると聞いています。採用については、設置者にお願ひしてまいります。

### このほか

○介護保険について

## 市の花等や春日部音頭 郷土かるたを 新しくする必要性



内田 勝康  
議員

合併に伴い市の花・木・鳥のアンケート調査を実施していますが、制定に向けてどのように考えているのでしょうか。あわせて、庄和地域も含めた歌詞による新しい春日部音頭や市の歌が必要と考えますが、いかがでしょうか。また、郷土かるたについて

も、庄和地域の大風あげや西金野井の獅子舞など大変素晴らしい歴史、文化があるので、新しくする必要があるのでないでしょうか。

### ○総合政策部長

市の花・木・鳥の制定については歴史や親しみやすさを考慮し、春日部市を象徴するものを選定する必要があります。また、音頭や市の歌については合併後の一体感を醸成し、郷土に一層の愛着をもつていただくということから意義あるものと考えています。

市の花・木・鳥と市の歌については、現在、広く市民の皆様のご意見を伺うためのアンケートを実施しています。その結果を尊重し、総合的に判断をしていきたいと考えています。

### ○社会教育部長

郷土かるたについては、春日部市青少年健全育成審議会から、市としての一体感を培うためにも新しいかるたの作成が必要であるとのご意見をいただいています。その意見を尊重するとともに関係部署と協議を進めてまいります。

### このほか

○市内の小中学校と春日部市教育委員とのかかわり

## 市立病院再建に向けて



小久保博史  
議員

社会情勢の変化の中で市立病院もその存在が問われており、市立病院を今後どうするか、真剣な議論を重ねて将来の進路を決定すべき時であると考えます。具体的には、市の財政も苦しく、病院の経営にも好転の兆しがないとしたら、現在の市立病院は朽ち果てるまで放置しておくのか、新病院の建設を優先させていくのか、それとも民間の機関に経営を任せることも考えているのか、市長の考えを伺います。

また、市長の言う経営健全化とは、病院に対して赤字、黒字という意味の経営優先を求めるのか、それとも市立病院が今果たしている公的医療を今後も継続することを優先するのか、市長の考えを伺います。

○市長  
病院施設の老朽化については認識しており、何もせず

病院経営を継続していくことは考えておらず、皆様に来院していただけるよう、一定の整備は必要と考えています。

また、できることなら黒字化を望みたいとは思いますが、公的医療には周産期医療、小児医療等の不採算となりがちな医療と地域中核病院としての高度医療等の役割がありますので、今後も継続して実施してまいります。

病院の再建に向け、あらゆる努力をしております。

このほか  
○市民サービスの向上とわかりやすい行政をめざして

## 教育基本法について



蛭間 靖造  
議員

教育基本法は、日本国憲法の理念に基づき制定された法律だと私は思っています。多くの国民の声は、なぜ今変えなければならぬのかということにあります。今、学校現場では、いじめ問題や必修教科の未履修問題等、早急に取り組むべき課題が山積してい

ます。これらの問題への対応こそが緊急になされるべきだと思いますが、いかがでしょうか。

また、もし教育基本法が改正されれば、教育現場はますます混乱することが予想され、子どもたちの負担が大きくなると思います。今、学校に求められるものは、すべての子どもたちが生き生きと活動できる場としての再生だと思えますが、いかがでしょうか。

○学務指導担当部長

いじめや未履修問題への対応と教育基本法の改正は、どちらを優先すべきかということではなく、それぞれ別々に考えていく問題だと思います。

現在、市内の学校では、子どもたちが生き生きと学校生活を送ることができるよう、学校教育の充実と教職員の資質向上を図り、特色ある学校づくり、魅力と信頼に満ちた学校づくりを進めています。

このほか

○東武伊勢崎線の北越谷から北春日部までの連続立体化について

○県道春日部菖蒲線の環境整備について

○春日部駅東口周辺の環境美化について

## 西金野井第二土地 区画整理地内の安全対策 及び道路整備について



富樫 清年  
議員

区画整理地内の道路では、どちらが優先道路なのか不明確な交差点が多く、交通事故が頻繁に発生しています。道路標識や区画線、道路標示等によって注意を喚起するよう安全対策が必要だと思えますが、見解を伺います。

また、地域北側の県道西金野井春日部線と接する部分は未整備であり、砂利道のため水がたまったりして、歩行者や自転車を通るのに大変困っています。この境目部分の整備予定を伺います。さらに、一時的にこの部分の仮舗装ができないか伺います。

○都市整備部長

平成16年9月に春日部警察署に要望を行い、協議の結果、通学路を重点として規制標識10カ所、横断歩道3カ所を設置し、既設の規制標識を含め27カ所設置しています。さらに、注意を促す簡易看板を21カ所設置しています。今後も

安全の確保を図るため、警察署に設置要望を行うとともに、簡易看板の設置を検討します。

また、県道部分の整備は、スーパードレインの共同化事業等のため、平成22年度以降になる予定です。今後、出入り口程度の範囲において、暫定的な整備を検討します。

このほか

○広域農道（市道9-3055号線）の下柳地区に信号機の設置を

○市内公民館に鏡の設置をについて

○市内小中学校の耐震診断の進捗状況について



県道西金野井春日部線

## 市立病院について



栄 康次郎  
議員

市立病院の累積欠損金は本年度で40億円に達する状況です。本気で再整備を考えるのであれば、累積欠損金を政策的に一度解消しなければならぬと考えますが、市の考え方を伺います。

また、再整備や移転新築などについて専門的に検討する機関を市長部局に設置してはいかがでしょうか。

さらに、市の方針を早急に出すべき時期であり、再整備に関する市長の率直な考えと、地方公営企業法の全部適用の考えを伺います。

### ○総合政策部長

累積欠損金を早期に解消することは、困難な状況であると認識しています。今後も、市と市立病院が一体となってこれ以上の累積赤字をふやさないための方策を検討し、実施していくことが必要であり、重要であると考えます。再整備の検討にあたっては、

全庁的な検討委員会の設置が必要と認識していますので、先進事例を研究し、今後検討してまいります。

### ○市長

再整備の財源として企業債の活用が不可欠であり、病院事業会計の健全化が必要と考えています。再建に向けてあらゆる努力をまいります。地方公営企業法の全部適用については、シミュレーション等を行い、検討してまいります。

### このほか

○地域ふれあい拠点施設及び民間商業施設について

## メリットシステムについて



白土 幸仁  
議員

春日部市緊急財政健全化計画では、自主財源の確保や歳出全般の効率化など、今後3年間の基本計画を策定しております。支出の抑制については、この計画とともに職員の潜在的意識改革をすれば抜本的な改革につながりやすいと考えます。

最近多くの自治体で導入されているのがメリットシステムで、横浜市では予算を削減した分の2分の1、または全額を削減の工夫等をした部局の翌年度以降3カ年の予算に上乗せしています。

職員が努力しただけ見返りがあるメリットシステムの導入により、予算執行段階での職員の意欲の向上と歳出削減が期待できると考えますが、メリットシステムについての認識と導入について、市の考えをお聞かせください。

職員が努力しただけ見返りがあるメリットシステムの導入により、予算執行段階での職員の意欲の向上と歳出削減が期待できると考えますが、メリットシステムについての認識と導入について、市の考えをお聞かせください。

### ○財務部長

メリットシステムのような制度は、通常の予算編成時には担当部の励みにもなり、有効であると考えています。

しかし、現況は歳出の削減額や歳入の確保額の一部を数年にわたってその部署に担保することは、非常に厳しい状況であると認識しているところではあります。

今後は、他市の試みも参考に研究して、工夫を凝らし、職員の意識改革につながる予算編成に取り組んでまいります。

### このほか

○日本一子育てしやすい街に向けて

## 市内循環バス運行に向けて



会田 幸一  
議員

市内循環バス事業は、合併後の新市の一体感や活性化のために、また、特に庄和地域の住民にとって重要な事業です。市民の声を取り入れていくことが大切ですが、市民参加のあり方を含めて検討経過を伺います。

また、運行開始までは計画策定後1年程度の準備期間が必要とのことですが、可能な限り早期に実施してほしいと思います。市長の見解を伺います。あわせて、市長がこの事業を通してどのようなまちづくりを考えているのか伺います。

### ○総合政策部長

本年1月から市内公共交通の現況調査を開始し、5月にはアンケート調査を実施しました。8月には春日部市地域公共交通検討委員会を設置し、計画素案を一部修正して今回の計画案がまとまり、現在、1月4日まで市民意見提出制

度を実施しています。準備段階においても、市民の声を取り入れるよう努めてまいります。

### ○市長

できるだけ早期に運行を開始できるよう努力してまいります。また、循環バスの運行を通して、今の春日部市に最も必要なにぎわいや活気を呼び戻すきっかけとしたいと考えています。

### このほか

○地域審議会の経過及び内容について

○安易なベットの飼育放棄の防止策について



循環福祉バス

**県道松伏庄和関宿線  
整備について**



鈴木 保 議員

県道松伏庄和関宿線は大型車の通行量が多い道路ですが、辻橋からセイコーマート間は幅員が6メートルない部分もあり、舗装状況も悪く、西側に流れる庄内領悪水路側に舗装がずれてしまっている部分もあります。県道に沿った東側には民家が立ち並び、さらに東側に18号水路が流れていますが、大型車の通行で地震がおきたようで、いつ車が飛び込んでくるか不安な生活を送っていると聞いています。

一日も早く拡幅整備ができるように努力をお願いするとともに、整備に時間がかかる場合には、大型車両の通行規制を検討してください。

**建設部長**

越谷県土整備事務所に確認したところ、二ツ橋から辻橋までを平成19年度から着手し、その後辻橋以南についても拡幅を予定しているとのことですが、早期に整備改良されるよ

う引き続き要望して参ります。

**市民部長**

春日部警察署によると、大

型車両等の通行規制の実施は、近隣住民の合意、う回道路の有無、う回先の道路への影響、事故発生状況等をもとに検討されるということです。地域の方には水路沿いの道の歩行をPRするとともに、県へは通行の規制を要望して参ります。

このほか

- 公立保育所の今後の運営方法について
- 土砂の埋め立て事業者に保証金預託を義務付けてはについて



県道松伏庄和関宿線

**信号機設置について、その後**



渡田 智秀 議員

3月定例会市議会一般質問をしました、八幡橋詰め粕壁東側の交差点への信号機設置については、一部工事が必要であるという答弁でした。その後の進捗状況はどうなっていますか。

また、地元の希望であります信号機設置の見直しはどうなっていますか。

**市民部長**

この交差点は、市道5-1-22号線の幅員が狭いなどの問題があり、信号機を設置するためには、県道、市道ともに交差点部分の改修を行う必要がありました。去る5月には春日部警察署、越谷県土整備事務所、市の道路街路課、暮らしの安全課におきまして現場診断を行い、改修箇所の把握をしました。現在では道路改良が行われ、信号機設置に必要な道路幅員が確保できたところですが、信号機の設置につままして

は、春日部警察署に確認したところ、平成19年1月には、工事に着手する予定とのことですが、市としても、今後とも警察や関係機関と連携を図りながら、交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

**このほか**

- 新市建設計画について
- 公共施設の展示物について
- 防犯パトロールについて、その後
- 市内学校の空き教室を地域の交流の場にする
- 春日部駅西口改札前の雨よけ対策

**「対等合併」の柱  
庄和総合支所の充実を**



福田 晃子 議員

合併時、庄和総合支所は対等合併という位置づけのもとに、単なる支所ではなく総合支所という形で、住民サービスの向上を図るため運営していく、とされてきました。しかし、実態は総合支所の課は、具体的な予算執行権を持っていないため、住民が身近な下

水等の相談・苦情等で要求しても、「本庁に伝え、指示を仰ぐ」式の対応で、住民の願いに十分こたえたものになっていません。総合支所の課に事業予算を与えるべきです。

また、総合支所の組織運営体制は、合併時8課17担当1教育支所104人体制、現在は8課11担当（水道営業所含む）72人体制です。これまでも担当部長も市長も「市民サービスの低下を来すことのないよう、常に最良の体制になるよう検討していく」旨の答弁をしています。住民は、単なる支所になってしまっているのではないかと心配しています。来年度の組織体制を伺います。

**総合政策部長**

本庁と総合支所の連携を密にし、迅速かつ的確な市民対応に努めています。予算配分がないことが理由で市民サービスの低下につながるものではないと考えています。

来年度の体制は、市民サービスの低下を招かないことを基本として検討しています。

このほか

- 南桜井駅周辺整備事業について
- 庄和体育館のトレーニング室に指導員の配置を

### 東中の建てかえと 雨漏り校舎の 改修を早急に



卯月 武彦 議員

東中学校の校舎は、築44年と築33年で、旧耐震基準で建てられている上、老朽化も進んでいます。6年前には外壁が大規模に落下する事故も発生しました。そのため、平成16年に建てかえの計画が作られ、平成21年に完成する予定となっていました。今年度は県所有地の取得や測量を終え、基本設計を行う予定でしたが、いまだに用地取得もできていません。用地取得が遅れている理由と取得の見通しについて伺います。また、遅れを取り戻し、予定通りに完成すべきだと思いますが、市の考えを伺います。

現在、何校で何方所の雨漏りが発生しているのか、また、その改修の状況を伺います。

#### ○学校教育部長

東中学校の土地取得は、県の内部で調整中であり、手続にはまだ時間がかかると聞いています。現時点では1年くらい遅れになると考えていますが、少しでも追いつく努力をいたします。

雨漏りは、今年10月の雨天時に調査したところ、24校、59カ所で発生し、平成18年度の修繕件数は49件です。

#### このほか

○一ノ割駅及び周辺の整備を



東中学校

### 公共施設の 耐震化について



片山いく子 議員

春日部市で耐震診断を行った学校施設の57棟の結果は、第1次診断の結果ですが、学校では0・75以上とされる耐震指標に対して、最も低い校舎の0・06を筆頭に、0・1～0・19が14棟、0・2～0・29が17棟と続き、平均値が0・34とのことでした。

J R東海的全駅舎で採用された、S R F工法という耐震補強工事が現在注目され、大規模なビルや学校、総合病院、市役所庁舎等で採用されています。工事費が従来の補強工事よりも安く済み、簡単な工事事で休日に行うこともできるため、学校だけでなく、市役所や市立病院西棟の耐震補強も可能になるかも知れません。ぜひ、この工法による耐震補強を検討してみたいかがでしょうか。

#### ○学校教育部長

S R F工法については、耐震補強工事としての有効性や

施工時間の短縮等も考えられますので、耐震性能を高めることが可能かどうか、今後、調査研究していきたいと考えています。

#### ○市長

耐震補強の工事については、議員ご提案のS R F工法も含め、最善の方法を検討したいと考えています。

#### このほか

○「緊急財政健全化計画」について  
○「放課後子どもプラン」について  
○春日部駅東西の自由通行について

### 緊急財政健全化 計画について



新部 裕介 議員

緊急財政健全化計画が策定されましたが、9月定例会では厳しい財政状況と様々な制度改正、社会状況などの動向を踏まえた上で、可能な限り正確で中長期的な財政シミュレーションの再構築を行い、政策決定や財政の健全化に役立てるよう提言を行いました。

そこで、この計画には、国の動向をどのように見定め、財政収支の見通しを盛り込んでいるのか伺います。

また、今後の厳しい財政状況や行政課題に対し、より多くの市民の理解を求める機会を設けて取り組むべきと考えますが、見解を伺います。

#### ○財務部長

過去の決算額の推移、今後の人口動向や経済情勢、現時点で見込める制度改正などを条件に試算しています。あくまでも過去の決算額の推移等を基礎としていますので、今後も国の動向など様々な要因に注意し、財政健全化の実現への対策を講じてまいります。

#### ○総合政策部長

現在、一例として総合振興計画の策定では、地域まちづくり広場と称するワークショップを実施しています。また、市長みずからが現場主義に基づき広聴業務も行っています。今後も選択と集中の視点に基づき施策を明確な根拠をもつて推進するため、施策や事業の考え方の理解をいただく機会拡充に努めてまいります。

#### このほか

○児童、高齢者虐待への効果的な防止策について

**障がい者の負担軽減と  
就労支援センターの  
人員体制の充実を**



阿部真理子  
議員

障害者自立支援法が本格施行され、福祉サービス利用料の負担増となったため、独自の負担軽減策を導入した市町村も多いということです。財政が逼迫しているのは承知していますが、削ってはならないものは福祉と教育です。市独自の軽減策を考えているか伺います。また、4月から障害者就労支援センターが開設されましたが職員は所長1人です。ひとりでも多くの方が就労の意欲を持ち、社会参加への意識を養うためには相応な支援が必要であり、センターの役割は重要です。職業相談、職場の開拓、職場実習支援、職業訓練等さまざまな支援が必要です。今年度、就労できた障がい者は2人という少なさです。人員体制と相談窓口の充実について伺います。

**福祉部長**

少しでも負担軽減が図れればと思います。未曾有の厳

しい財政状況であり、軽減策を講じることは非常に厳しいです。しかし、国は負担軽減策を年度内に実施する方針があると聞いていますので、動向を注視し、見守ってまいります。また、就労支援センターの事業の充実、拡大を図るためには人員配置の充実が必要不可欠であり、引き続き人事部門と調整してまいります。

**このほか**

○安心、安全な通学路の整備  
○子どもたちが安心し、安全に学び、過ごすことのできる学校の環境整備を

**マンション対策  
相談窓口の充実について**



栗原 信司  
議員

マンションの相談窓口について3年前にも議会で取り上げ、相談窓口の設置を提案しました。この件は昨年の合併時の例規集の見直しの際、建築課の事務分掌の中に「マンションの管理適正化及び代替え円滑化に関すること」として規定をしていただきました。

しかし、この担当窓口や、マンション等に関する無料相談を実施していることを知らない方も多いため、市民の皆様への広報活動を充実させるべきではないでしょうか。

**都市整備部長**

首都圏直下型地震を初め、災害が起こる可能性が高いとされる今日、その対策が喫緊の課題であります。

**このほか**

○公共交通網（バス等）の利便性の向上について  
○ひとり親家庭・障がい者等医療費の窓口払いの撤廃について  
○帝王切開後の胃ガン検診について  
○地区公民館の運営を自治会に

**防災及び危機  
管理について**



鬼丸 裕史  
議員

○秘書室部長  
平常時の危機管理防災室は動員計画の作成、自主防災組織の育成、備蓄食糧や防災無線の管理見直し等を行っております。情報の収集については、衛星通信ネットワーク等各種システムを活用しています。初動体制ですが、担当職員は、常に気象情報等を入手し災害



防災地区別避難訓練

の恐れがあるときは自主参集しています。また、夜間休日の大規模災害時の体制については、震度5弱以上から段階的に自主参集により動員されます。防災訓練への取り組みについては、全市的に行う総合防災訓練や、防災地区別避難訓練等を効果的に行っています。今後の取り組みは、年次的に防災士の増員を図っていきます。また、ハザードマップの作成を進めていきます。

**このほか**

○子育て支援マンション認定制度について  
○総合振興計画について

**地域振興ふれあい  
拠点施設は子育てを  
支援するものに**



並木 敏恵  
議員

地域振興ふれあい拠点施設（旧産文センター）予定地に隣接して商業施設の建設が進められています。市民の大切な税金を投じて土地を取得し、長い期間をかけただけに、公共施設の部分は、市民のくらし・福祉の充実に寄与するものを、と多くの市民が願っています。県の計画は、「民間参画」が前提と聞いています。しかし、市民の税金を使って民間企業の儲け口をつくっただけ、というわけにはいきません。これまで市が投入してきた経費はいくらでしょうか。春日部市は、「子育て日本一」を目指す市政として、地域振興ふれあい拠点施設は、児童相談所をはじめ、中高生向け児童館や子育て支援センターなど、子育てを支援する施設を強く要望すべきと思いますが、いかがでしょうか。

**総合政策部長**

市では用地取得や周辺整備

等に約39億円の経費を投じています。今後、土地取得分の2分の1を県が負担するため、実質的な負担は約26億円です。

**市長**

子育ての不安をなくし、子育てを支援する重要性は十分認識しています。県の「地域振興ふれあい拠点施設再検討委員会」でも「子育て支援は大変重要」と位置づけられていることから、引き続き、県との協議を進めてまいります。このほか

○春日部産の安全でおいしい農産物を学校給食に

○循環福祉バスを市内全域に

**市役所にいじめを含む  
学校問題対策として  
相談窓口の新設を**



滝澤 英明  
議員

子どもたちのいじめや自殺は社会問題化し、本市でも学校生活やいじめを含めた友達関係のこと、子どもと先生とのかかわり等に悩む児童、保護者あるいは、先生が多数いると思います。そこで、そうした悩みに応じる相談体制の現状と実績、市役所で行って

いる市民相談の現状と教育に関する相談の有無、さらに市役所内に学校生活や教育関係を中心とする新しい相談窓口の設置について伺います。

**学務指導担当部長**

市内中学校全校にさわやか相談室を設け、相談員等を配置し、教育相談センターと連携を密にし、相談体制の充実に向けています。電話や来所による相談件数は、平成17年度では2052件ありました。

**市民部長**

市民相談では、昨年度3651件の相談があり、そのうち2割が家庭に関する相談でした。

**教育長**

教育相談窓口の市役所への設置につきましては、相談者の利便性の向上という観点からも望ましい対策であり、関係各課と連携、協議をしてまいります。このほか

**市長**

既存の相談を十分活用し、日本一子育てしやすいまちの推進のため、今後さらに相談窓口の充実を図ります。

**このほか**

○市立病院の運営について  
○春日部市の災害時医療体制の整備について

**児童虐待防止を訴える  
「オレンジリボン  
キャンペーン」について**



大山 利夫  
議員

小山市で、一昨年に幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ捨てられ亡くなる事件が起き、この事件を契機に小山市の市民グループ「カンガルーYAMA」がオレンジ色のリボンをつけ、児童虐待防止を訴えるオレンジリボンキャンペーンを始めました。厚生労働省や栃木県も後援をしており、児童虐待相談件数が増加する本市でも、キャンペーンを啓発し、虐待防止の輪を市民に広げるべきと考えますが、見解を伺います。

**福祉部長**

児童虐待相談へ適切な対応を行うため、様々な活動を行っています。また、キャンペーンに賛同し、市民の意識啓発を行うことは虐待防止に効果的な取り組みであると考えます。今後多くの市民、保護者に

キャンペーンの趣旨を知っていただけるよう、ポスターの掲示、広報やホームページに

よる啓発のほか、児童館、保育所、教育委員会とも連携し、意識啓発に努めてまいります。

**このほか**

○障害者差別禁止条例の制定と「障害者」を「障がい者」と表記変更する時期について

○高齢者等の孤独死防止対策について

○学校現場における脳脊髄液減少症の周知対策と現状について

○市場化テストについて  
○横浜市が条例化を検討している悪質な救急119番通報への罰則、罰金規定に対する市の考え方について



オレンジリボンキャンペーン

**春日部駅東口の自動車  
駐車位置の設置の促進**



山口 保  
議員

春日部駅西口ロータリーから郵便局までに設けられた自動車駐車位置と同様に春日部駅東口にも、同様の計画を立てていただき、東口商店街通りを警察との協議の中で進めていただければと思いますがいかがでしょうか。また、春日部駅東口の駐車場は条例に基づいて設置されていますが、何力所あり、何台駐車できるかお示しく下さい。さらに、今後の対応として、市が土地を取得・借用して各商店街の駐車スペースを個別に設ける必要があると思いますが、考え方をお示しく下さい。

**○環境経済部長**

西口に設けた駐車枠は、交通規制の緩和措置モデル事業として試験的に設けられたものですので、範囲を広げることは難しいと聞いています。今後は、窓口となる春日部警察署に対して要望してまいります。なお、東口周辺には約

60台の有料駐車場があります。また、空き地を活用しての駐車場の確保につきましては、商工会議所や商店街等に空き店舗対策を含めて、一般の有料駐車場の整備の可能性を協議してまいります。

**○市民部長**

春日部駅東口の市営駐車場は11台、西口駅通りの駐車スペースは24台、武里駅西口の市営駐車場は14台あります。

**このほか**

○ノーマライゼーションの実現  
○各駅周辺自転車の整理について



自動車駐車枠

**テニススコートの需要と  
供給のアンバランスと  
今後の取り組み**



阿部 喜一  
議員

大沼運動公園にテニスコートが設置され三十有余年、この間に専門的知識を持った管理職員を配置すべきだが実態はどうなのか、また、施設管理について、近隣市町と比較研究したことがあるのか伺います。また、手ごろな運動としてテニスに参加する市民がふえることは周知の事実です。テニス愛好者の中には、大会等で結果を出している方も大勢いますが、持ち回りで行われる大会開催の分担等の要請に対して、本市ではこたえられない施設はありません。ぜひ、行政が手を差し伸べるべきだと思いますが考えを伺います。

**○社会教育部長**

テニスコートの管理運営人員の推移は管理運営形態の変化などで、数値ではお示しできません。また、近隣市町の担当者等の調査研究会や県下各市町村の課長会議等で施設管理に関する情報の収集を行

っています。テニス人口増加に伴う施設の整備につきましては、厳しい財政状況のため、既存施設の利用をお願いし、安全に利用していただけるよう努めてまいります。

**このほか**

○余熱利用施設（温水プール、クアハウス）等、福祉施設としてのその後の考え方を問う  
○路線バス運行コースの要望請願を受けている薬師沼憩いの家經由赤沼地区への延伸についてを問う  
○ユリノキ通りの県道永沼橋交差点より米島までの延伸とその後の進捗状況を問う

**公民館に「有料化」は  
ありえない**



松本 浩一  
議員

公民館は、憲法、社会教育法のなかで設置・運営されています。また、公民館は、地域をよくしていくために「出会いと学びの場所、学ぶ権利を保障する場所」として、地域文化、地域づくりの拠点として重要な役割を果たしています。

学校における義務教育が無償であるように、社会教育の拠点である公民館で「有料化」して、お金をとることは、法的にも、公民館設置の歴史や理念、目的から見ても許されるものではありません。

市民文化会館などは市町村が必要に応じて設置し、住民に「場所を提供するため」につくられたものであり、「貸し館」が主な役割です。これは、公民館とは目的が違うので「有料化」は理解できる面はありますが、公民館に「受益者負担」はありません。市長の考えを伺います。

**○市長**

既に公民館の一部で使用料を設定しており、教育施設の体育館等は、すべて有料施設として市民に定着しています。近年では公民館を有料施設へ移行する自治体もふえています。

有料化が法の精神に反するという判例はなく、憲法や社会教育法の精神に反するものではないと考えています。

**このほか**

○ひとりひとりを大切にする教育基本法を生かした教育を  
○必要な職員は配置し、行政サービスの拡充を

# 12月定例会 審議結果

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	春 和 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	フ ォ ー ム 春 日 部	社 会 民 主 党
第130号	男女共同参画推進条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第131号	条例の用字用語等の整理に関する条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第132号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第133号	職員の育児休業等に関する条例等の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第134号	証人等の実費弁償に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第135号	手数料条例の一部改正 (建設・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第136号	こども医療費の助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第137号	遺児手当支給条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第138号	在宅重度心身障害者手当支給条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第139号	廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○
第140号	中小企業近代化資金融資あっ旋条例及び小口特別融資あっ旋条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第141号	庄和都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計条例等の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第142号	埼玉県後期高齢者医療広域連合の設立 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	×
第143号	栗橋町外五箇市町水防事務組合の規約変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第144号	江戸川水防事務組合規約の変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第145号	彩の国さいたま人づくり広域連合規約の一部変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第146号	財産の減額譲渡 [集会所用地] (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第147号	指定管理者の指定 [商工振興センター] (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○
第148号	平成18年度一般会計補正予算(第3号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○
第149号	平成18年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第150号	平成18年度老人保健特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第151号	平成18年度介護保険特別会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第152号	平成18年度土地取得特別会計補正予算(第1号) (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第153号	平成18年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第154号	平成18年度庄和都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	×	○
第155号	平成18年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第156号	平成18年度下水道事業会計補正予算(第1号) (建設)	原案可決	○	○	○	×	○	○
第157号	平成18年度病院事業会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第158号	監査委員の選任につき同意を求める [佐久間和雄氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	×	×	○
第159号	教育委員会委員の選任につき同意を求める [植竹英生氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	×	○	○

## 議員提出議案

第23号	市議会委員会条例の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第24号	市議会会議規則の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第25号	「マザーズサロン」(仮称)設置の早期実現を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第26号	「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○

## 請 願

第7号	義務教育費国庫負担制度の維持・拡充を求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	×	×	○	○	○
第8号	「森の中の滞在型図書館」の早期実現を求める請願 (教育環境)	採 択	○	○	○	○	○	○

# 今定例会の日程

- 11月27日  
開会、議案第130号から  
議案第157号までの上  
程・説明
- 11月29日  
議案第130号から議案第  
157号までに対する質疑
- 12月1日  
常任委員会
- 12月5日  
一般質問(6人)
- 12月6日  
一般質問(6人)
- 12月8日  
一般質問(6人)
- 12月12日  
一般質問(6人)
- 12月13日  
一般質問(5人)
- 12月15日  
常任委員長報告とそれに対  
する質疑、各議案並びに請  
願に対する討論・採決、議  
案第158号並びに議案第  
159号の上程・説明・質  
疑・討論・採決、議員提出  
議案の上程・説明・質疑・  
討論・採決、特別委員会の  
設置、閉会



# 閉会中の委員会活動

- ▽教育環境委員会  
10月11～13日  
・尼崎市(ごみの減量化・リ  
サイクルについて)、篠山  
市(篠山市立中央図書館に  
ついて)、豊橋市(次世代  
型とよはし農業創造計画に  
ついて)を視察
- ▽厚生福祉委員会  
10月17～19日  
・函館市(福祉サービス苦情  
処理制度・福祉のまちづく  
り条例について、あいよる  
21函館市総合福祉センター  
について)、札幌市(在宅  
福祉サービスの取り組みに  
ついて)、岩見沢市(岩見  
沢市立総合病院について)  
を視察
- ▽総務委員会  
10月18～20日  
・越前市(自治基本条例につ  
いて)、伊勢市(合併後の  
市政運営について)、四日  
市市(電子投票制度につい  
て)を視察
- ▽建設委員会  
10月18～20日  
・高知市(高知駅周辺都市整  
備について)、坂出市(坂  
出駅周辺整備主要プロジェ  
クトについて)、徳島市(川  
を活かしたまちづくりにつ  
いて)を視察
- ▽議会運営委員会  
11月7日～9日  
・豊田市(議会運営・活性化  
について)、草津市(議会  
運営・活性化について)、  
四日市市(議会運営・活  
性化について)を視察
- 11月22日  
・平成18年12月定例会運営に  
ついて
- ▽市立病院健全経営検討特別  
委員会  
1月16日・17日  
・市立病院の現状と今後につ  
いて
- ▽図書室運営委員会  
1月10日  
・図書購入について
- ▽議会だより編集委員会  
12月20日  
・議会だより第6号の発行に  
ついて
- 1月10日  
・議会だより第6号の発行に  
ついて

## 次の定例会は 2月19日(月) 開会予定です



◎委員長 ○副委員長



議長 中川 副議長 内田 議員 勝康

大栗小鳴阿石山野河富五武小竹鈴山川会並福松片渋蛭栄阿新白卯村秋滝岩鬼  
山原島島部川口井樫十嵐保内木崎鍋田木田本山田間部部土月松山澤谷丸  
利信文喜勝浩美清みどり幹博正秀幸敏晃浩いく智靖康真裕幸武君文英一裕勝  
夫司男武一也保昭久年り也史元保進雄一恵子一子秀造郎子介仁彦子和明弘史康朗

(議席番号順)

公職選挙法により、議員は年賀状などのあいさつ状を出すことが禁止されております。  
本紙面上をもって年頭のごあいさつをさせていただきます。  
ご理解とご協力をお願いいたします。

合計	15	13	12	8	6	12/5	29	11/27	月日	今定例会議会傍聴状況
150	13	25	25	13	31	24	7	12	傍聴者数	主な日程
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	質疑	上程・説明		

**市立病院健全経営検討  
特別委員会を設置**

今定例会において、春日部市の医療需給、医療を取り巻く環境を踏まえた市立病院の役割と、市民の命を守る地域中核病院としてあるべき姿の調査研究を行うため、市立病院健全経営検討特別委員会を設置しました。

委員の構成は、次のとおりです。

委員長	小島 文男
副委員長	大山 利夫
委員	滝澤 英明
委員	秋山 文和
委員	阿部真理子
委員	蛭間 靖造
委員	渋田 智秀
委員	松本 浩一
委員	山崎 進
委員	小久保博史
委員	河井 美久
委員	鳴島 武
委員	栗原 信司

**傍聴して一言**

受付の方が丁寧に対応してくださり、初めての傍聴でしたが、戸惑うことはありませんでした。

ただし、耳の不自由な方や目の不自由な方のために、字幕の設置やイヤホンガイドなど、前向きに考えていただきたいと思いました。

ありがとうございました。

森の中の図書館建設について全員の賛成をいただき、心強く思いました。

女性 74歳

※割愛させていただいた部分もありません。

**編集後記**

新年明けましておめでとう  
ございます。

新しい年を迎え、編集委員  
一同気持ちを引き締め、市民  
の皆様には議会に対する理解と  
関心を深めていただくため、  
今までの以上に親しまれる議会  
だよりの編集に取り組んでま  
いります。

寒さもこれからが本番です。  
皆様のご健康をお祈り申し上  
げます。

**議会だより編集委員会**

- 委員長 村松 君子
- 副委員長 阿部真理子
- 委員 鬼丸 裕史
- 委員 岩谷 一弘
- 委員 渋田 智秀
- 委員 松本 浩一
- 委員 武 幹也
- 委員 石川 勝也
- 委員 小島 文男
- オプザーバー
- 議長 中川 勝康
- 副議長 内田 勝康

〒344-8577

埼玉県春日部市中央6丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線 3116

